

答えは、人が出す。

アクシスコンサルティング株式会社

業務提携に係る 補足説明資料 | FDE人材育成

× AI Librarium 株式会社（アイブリウム）

2026/9/1

AI Librarium 株式会社との業務提携について

当社のフリーランス人材基盤とAI Librarium のAI領域における実践知を掛け合わせ、AI Transformationを担うFDE人材の育成を開始します。

アクシスコンサルティング

AI Librarium (アイブリウム)

人材紹介

SES

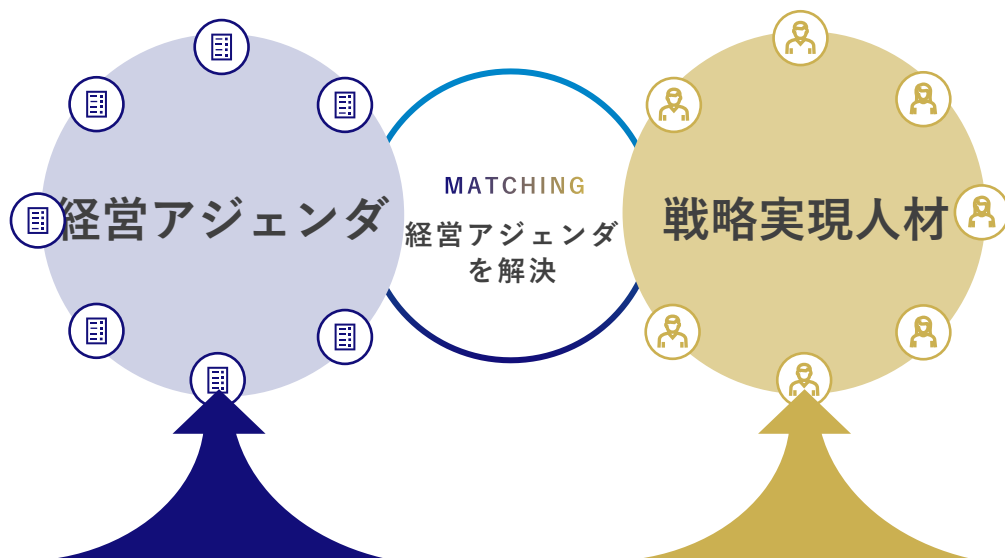
スキルシェア

**FDE人材の育成 × 実案件
での活躍機会の創出**

AI人材育成

AIエージェント開発

AIコンサルティング



会社名	AI Librarium 株式会社
事業内容	AIコンサルティング/AIエージェント開発/AI人材育成
代表者	代表取締役CEO 西川 智章
設立	2025年9月1日
資本金	1,500万円
所在地	東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビルディング9F
サイト	https://ailibrarium.com/

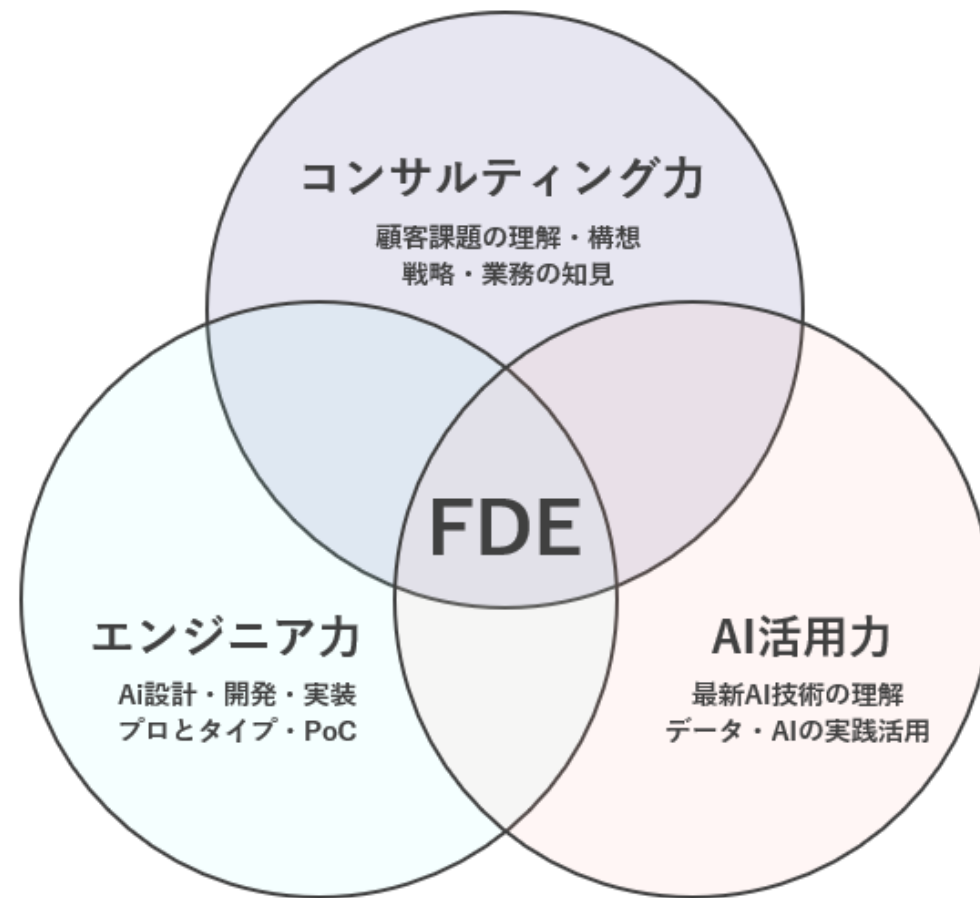
AI時代に求められる新たなハイエンド人材「FDE」

生成AIの進化により、戦略や構想の提示にとどまらず、顧客課題の発見からPoC、実装・改善までを一気通貫で推進する人材の重要性が高まっています。こうした新たな役割を担う存在がFDEです。

FDEとは

Forward Deployed Engineer

コンサルティング × エンジニアリング × AI の
3つの力を掛け合わせ、
顧客の現場で価値を創出する新しい職能



なぜ今、コンサルタントをFDEへ育成するのか

生成AIの進化により、コンサルタントに求められる役割は構想・提案から実装・改善まで拡大。ハイエンド人材の専門性をAI・エンジニアリング力で拡張し、FDEとしての活躍を目指します。

	① 企画構想	② 業務分析	③ AI設計	④ プロトタイプ開発	⑤ PoC	⑥ 評価・改善	⑦ 実装・定着
	- 経営/業務課題の発見 - AI活用テーマの構想 - 価値仮説の設定	- 現状業務の可視化 - 課題の特定 - データ/業務要件整理	- 解決アプローチ設計 - AIソリューション - データ設計/技術選定	- プロトタイプの開発 - AIモデル/アプリ構築 - 動作検証・改善	- PoC計画の策定 - 実証実験の実施 - 効果/実現性の検証	- 効果測定/評価 - 知見の整理 - 本番実装に向けた改善	- 本番実装の推進 - 現場への定着支援 - 継続的な改善/拡張
FDE Forward Deployed Engineer	構想から実装・改善まで一気通貫						
一般的なコンサルタント	構想・課題整理・提案						
一般的なAIエンジニア			設計・開発・実装				

BEFORE 「提案して終わる」／「開発だけを担当する」
役割ごとに担当範囲が区切られ、成果の連続性が生まれにくい

AFTER 課題を理解し、解決策を考え、自ら形にし、改善まで進める
顧客の現場に留まり続け、成果が出るまで伴走する

「AI人材をゼロから育成する」のではなく、「ハイエンド人材の専門性をAIで拡張する」

当社ハイエンド人材の価値をさらに高める仕組みへ

「人材を見つける」「FDEとして育成する」「AI案件で実践する」「さらに専門性を高める」という循環を構築し、AI時代に求められるハイエンド人材を継続的に輩出する仕組みの確立を目指します。



Appendix：市場環境

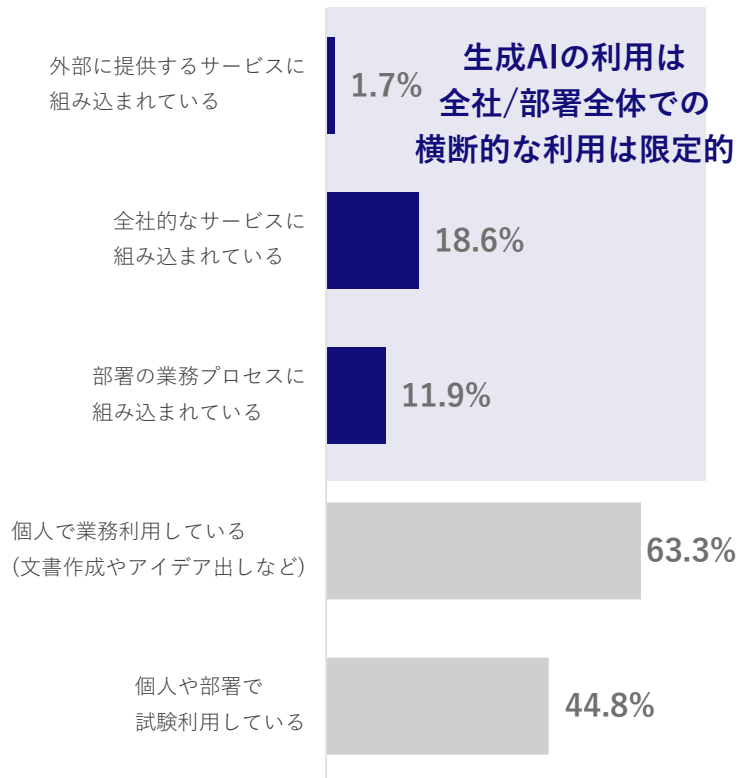
事業計画及び成長可能性に関する事項 より抜粋

生成AIの活用は進んでおらず、それを解決するAI関連人材の不足感は強まっている

IPAの調査によると、大企業では生成AIの導入は進んでいるものの、個人利用に留まる企業が多く、業務効率化には寄与する一方で経営アジェンダ解決への効果は限定的である。そのため、AI活用を推進できる人材の不足感が強まっている。

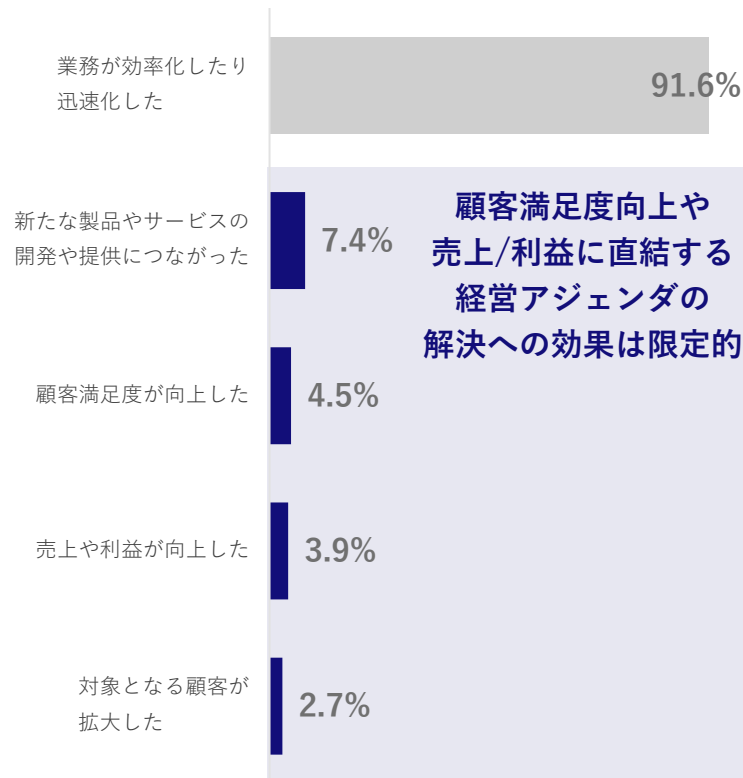
● 生成AIの具体的な利用状況*1

生成AIは導入済みのものの、
個人利用に留まることが多い



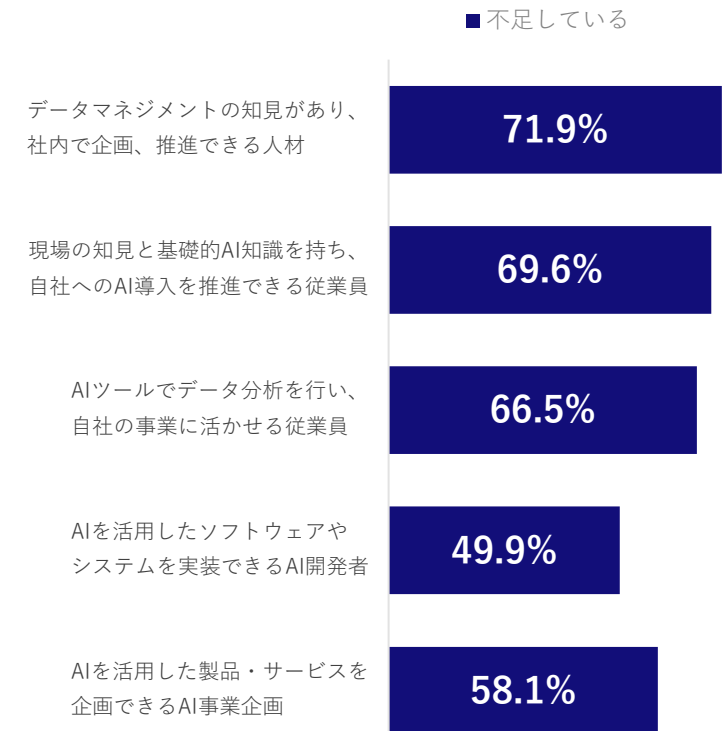
● 生成AIの導入効果*2

業務効率化には大きく寄与するが
経営アジェンダ解決効果は限定的



● AI関連人材の不足*3

日本においては種別を問わず、
AI関連人材が大幅に不足



*1 | 出所：IPA「DX動向2026 3.2. AIの業務活用の実態」
*2 | 出所：IPA「DX動向2026 3.4. AI利活用による効果」
*3 | 出所：IPA「DX動向2026 4.4. AI関連人材の充足状況」

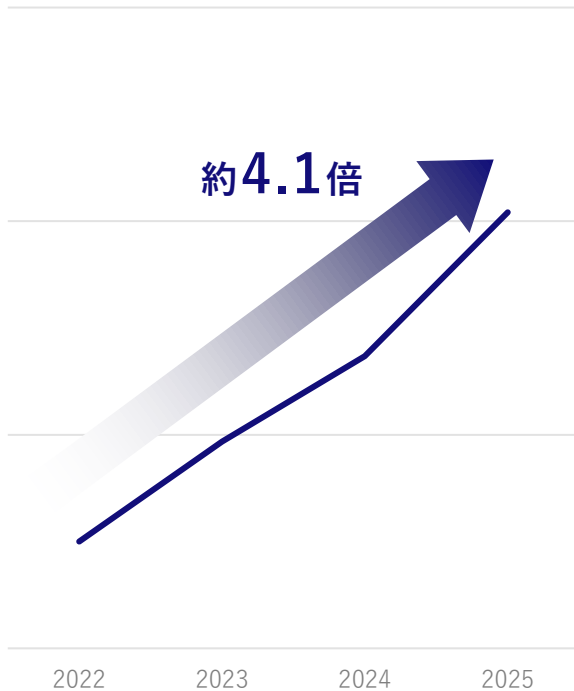
当社の事業機会 | AI関連人材の登録者数・プロジェクト数はともに増加

市場でAI関連人材の需要が高まるなか、当社のスキルデータベースではAI関連人材の登録者数・プロジェクト実施件数がともに増加しており、登録者・案件の両面でAI需要を取り込むことで、今後の成長ドライバーとして期待できる。

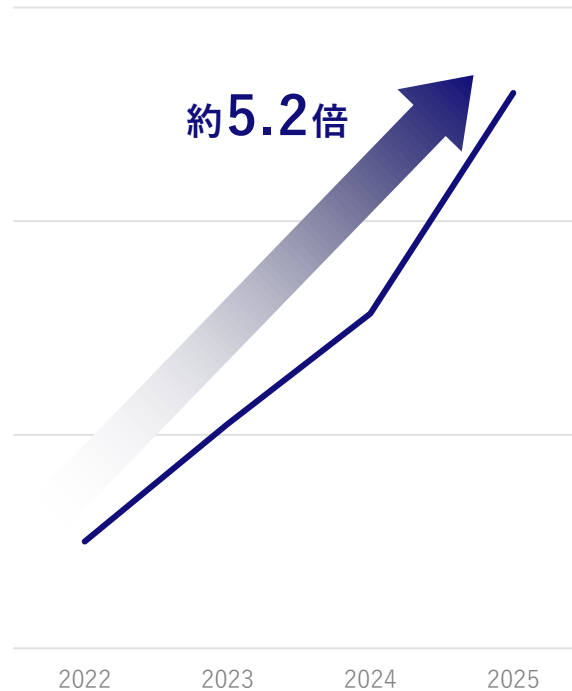
● AI関連人材の新規登録者推移

人材紹介・スキルシェアともにAI関連人材の新規登録者数は増加基調

人材紹介^{*1}



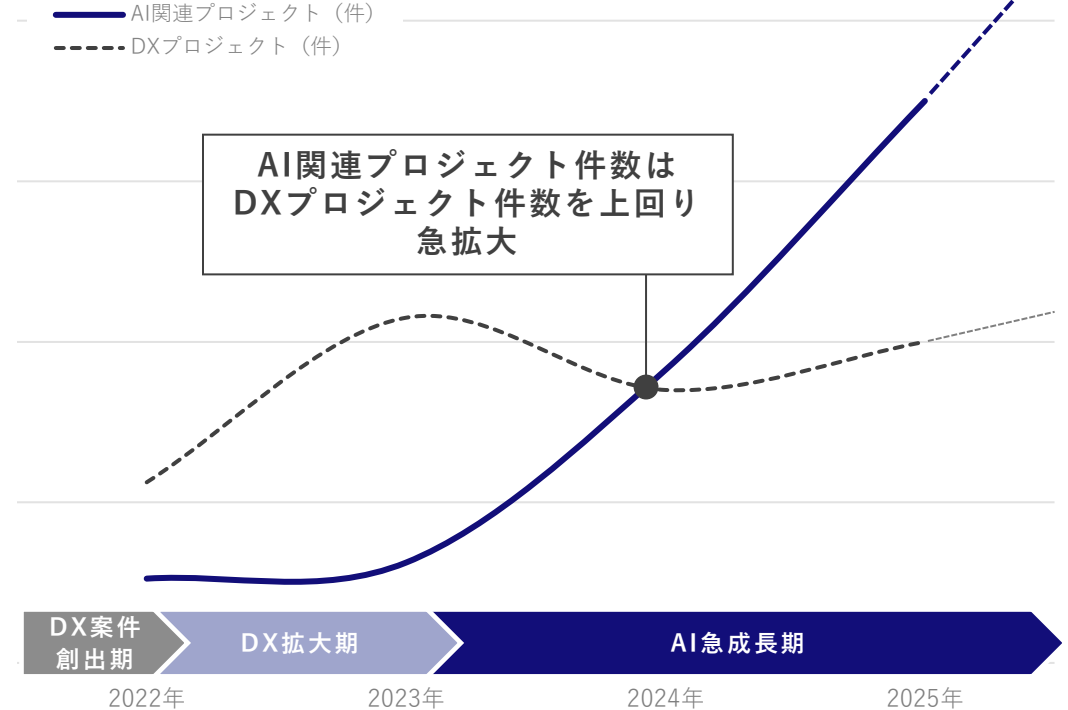
スキルシェア^{*1}



● AI関連プロジェクトの推移

AI関連プロジェクトの件数はDXプロジェクトを上回って推移

AI関連プロジェクト/DXプロジェクト^{*2}



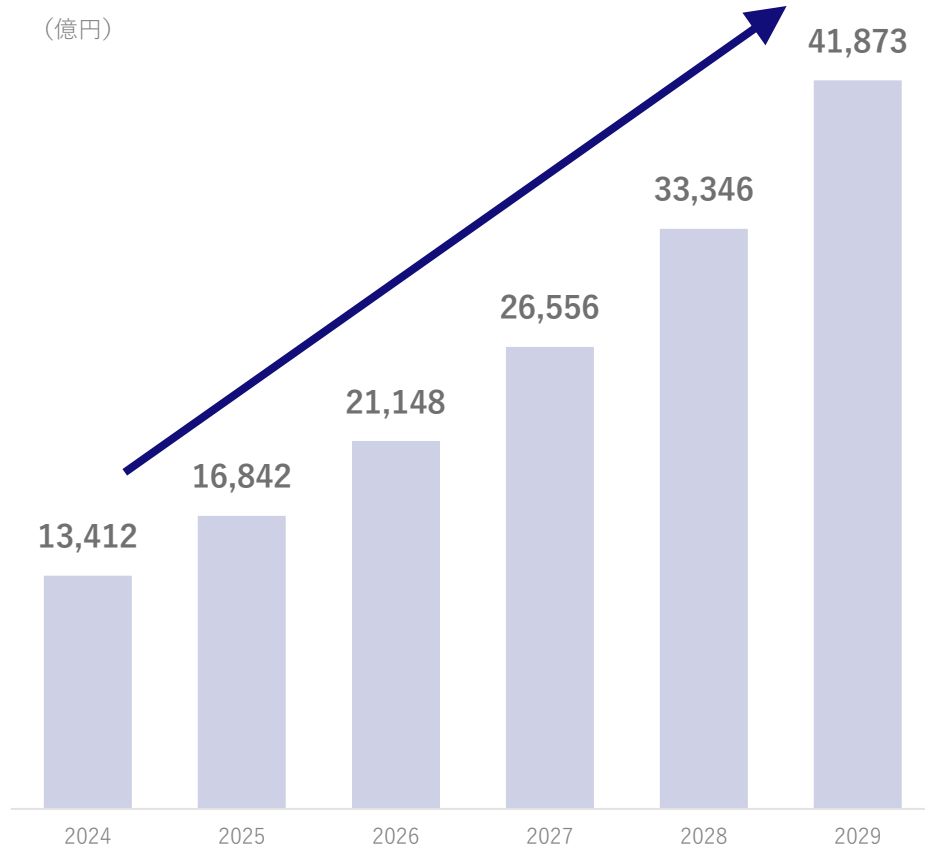
*1 | 2022年1月～2025年12月の期間で新規登録者を対象に、当社データベースより作成。2022年1月～12月の新規登録者数を1とし、各年の累計数値を指数化している。

*2 | 2022年1月～2025年12月の期間で当社案件データベースに登録されているAI関連プロジェクトとDXプロジェクトの件数。

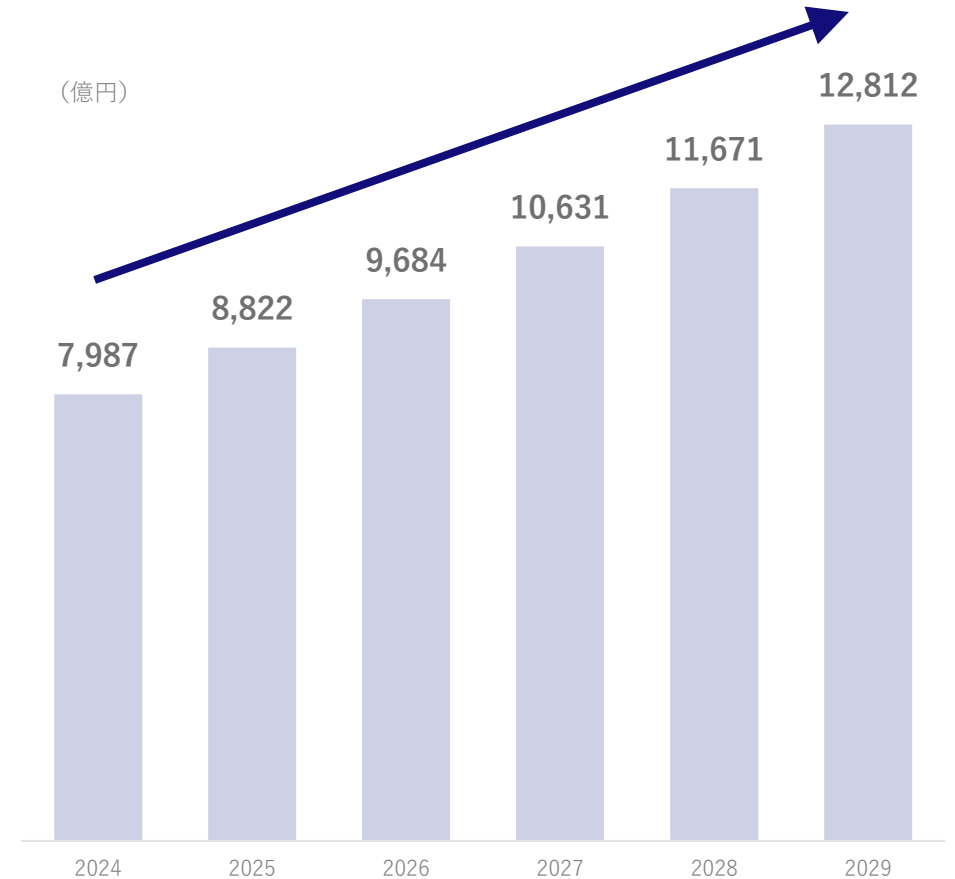
AI関係市場の拡大により、人材紹介とスキルシェアの成長余地も広がる

AI活用の高度化は、その導入・運用を支える専門人材へのニーズを押し上げ、コンサルティング需要の拡大につながる。当社は、ハイエンド人材との中長期的な関係を軸に、人材紹介とスキルシェアの両基盤を活かしてこの成長を取り込む。

● 国内AIシステム市場規模推移*1



● 国内コンサルティング市場規模推移*2



コンサルティング市場を
押し上げるドライバー
AI需要

*1 | IDC Japan 「国内AIシステム市場予測 2024年～2029年」 より一部数値は成長率から当社算出。

*2 | IDC Japan 「国内ビジネスコンサルティング市場予測 2026年～2030年」 より一部数値は成長率から当社算出。